

はじめに

留学生活も残り2ヶ月をきりました。ロチェスターの気候もだんだん暖かくなり始めましたが、まだまだコートは欠かせません。授業の予習や課題に追われる毎日に慣れ、1日のライフサイクルにも慣れてきたためか、1週間が本当にあつという間に過ぎ去ってしまいます。

3月末に1週間の春休みがあったためほとんどの学生が旅行や実家に帰省してしまいました。さらに学内のすべての店も休み中は営業しないため私も友達とボストンへ行く事にしました。

今月は引きつづきそれぞれのクラス詳細を中心に報告していきたいと思います。

Speaking & Listening Class

授業の中で様々なトピックを扱うなかで、TED トークの動画を見てクラス内で議論をしました。その他にもプレゼンターのプレゼンの仕方、このプレゼンの仕方はわかりやすいか否か、どのようにサインランゲージやアイコンタクト、発音の仕方などを多方面から考えこれもまたクラス内で議論をしたりしました。

Writing & Reading Class

中間試験までに8つの長いエッセイを理解しそれぞれの差別化をはかった上でテストに望まなくてはならず、すべての授業のなかで一番苦手にして多くの時間を使いました。同じトピックをさまざまな方面から考察しながらエッセイを読まなくては行けないという作業は本当に日々の積み重ねの大切さを実感させられました。さらに一つのトピックについてエッセイを書き、アカデミックな文章を書くためにどのように書き換えなければならないのかなどのフィードバックなども先生と話すことでとても助けになりました。

Analysis & Acc Class

英語の文法的な手法を学びながら多くの問題を解いていきます。さらになぜこの文法を使うのかなど文章を書く上で伝えたい事によって使い分ける必要性を学んでいます。さらにクラス全体でわからない場合は時間をのばしてまで徹底的に議論しあい、お互いがシェアできるまで話し合う事はとても楽しく感じましたし、理解が深まりました。

Survey of west Art and Architecture 1

授業も古代エジプトやペルシャから古代ギリシャ、ローマに移り、私が大学生時代に習った内容を復習する形でさらに深く学ぶ事ができています。この授業では建築だけの視点でなく、政治的、宗教的、文化的視点から時代を考察し、どのようにこの時代では表現されていたのかを学んでいます。エッセイやリサーチペーパーに追われていますが、自分の興味がある分野だと自然と手が進んでいる事に驚いています。

おわりに

ほとんどの課題はRITのmy Coursesというインターフェース上にアップロードする形で提出します。このシステムの良さにとても驚かされました。なぜならこのインターフェースでは成績やすべての学生とのコミュニケーションやディスカッション、クラスの予定、アテンションなど幅広く活用できるツールであり、RITでは必須ツールとして使用されています。クラスの課題や資料は教授がアップロードし、それを学生がダウンロードしてハードで残すことも可能です。そのためとてもスムーズに情報共有ができます。同じようにRITのメールも自分で作り学生同士や教授とのやりとりにはなくてはならないものだと感じました。

以上で3月分の報告を終わります。